

☆NPO法人医療的ケアネット<春の学習シンポジウム&総会>☆

ブックレット発刊記念シンポジウム<どうなってんねん、これからどうすんねん”医療的ケア法制度”>

5月27日(日) 13:15~16:30 京都テルサ 西館3階第1会議室にて開催しました。

*基調講演

「医療的ケア」の過去・現在・未来どのいのちも等しく尊い

NPO法人医療的ケアネット理事長 杉本健朗

あらためて「医療的ケア」の歴史と実践が積み上げてきたものと、『医療行為』を介護職が『業務』として実施できるようにすることが目的であった今回の法制化との「ギャップ」を確認した上で、なお「一つのチャンス」として生かしていくために、問題の本質をきちんと認識しておくことの重要性を指摘され。また「尊厳死」法案などの大きな動きとの関わりなども、視野に入れておくことが必要であるとも…と。



*討論

・介護職...京都府からの委託研修から見た課題

京都で一定の成果を上げる研修ができた「素地」として、府下各地での「医療的ケア」に係る取り組みと府への働きかけがあったことを上げていただいた。今後もこの視点を持って、地域での取り組みを進めていくことが重要だと再確認。そして、単に「認定証」を得るための研修ではなく、「必要な支援の一環としての実施を法制化にのせる」「医療的ケアを必要とする方々への支援の意味をきちんと整理し、その支援の必要性への理解を深める」ことが不可欠であることも再確認する。…と。

・介護職...障害者センターから

大阪の生活介護事業所からの報告。府県ごとの取り組みの違い、実態に追いつかない制度への対応で混乱する現場の状況下で、何より一番「迷惑」を被るのは利用者さん自身であること。「実質的違法性阻却」通知の対象になっていないとされ、制度化以降の研修も十分に受けられないという障がい者の通所事業所で、これまで積極的に医療的ケアに取り組んできたところほど大変な状況になっていることがわかる。…と。

・教育職...支援学校現場から

文科省としての取り組みが遅れたこともあり、また学校毎の医療的ケア対応がそもそもまちまちだったこともあって、法制化に対する取り組み状況も学校によってバラバラであること。今後「教員も含めて取り組む（教育課程に位置付けられた教育の一環として）」学校と「看護師が対応する（教育課程外の「配慮事項」として位置付けられた行為として）」学校に分かれていくことも考えられる中で、登壇された先生自身のお考えとして、「医療的ケアを教員が行う意義」の大切さを強調されていたことに共感。やはり、「医療的ケア」の原点はここにあるのだ…と。

・医師.....どうか変わったか？「医療的ケア指示書」

「指示書」の問題。「介護事業所等」への指示書の対象に「支援学校」が含まれていない問題。指示書で示される内容と指示を出す医師の責任の「限界」を理解しておくことが必要だと感じる。…と。

・看護師...京都府からの委託研修に関わって

指導看護師としての立場からの問題提起。シミュレーター演習は現場で状況に合わせて行った方がよいのでは？ヒヤリハット事例に対する考え方、「なぜそれが起こったか」をしっかりと確認して解決方法を見つけることが重要。…と。

・高齢者施設...不特定実施開始後の現場

施設での「不特定多数」研修の実施状況と課題。普段、あまり知る機会のない現状について聞くことができ、大変勉強になった。そもそも現場での人手が十分ではない中で、必要な研修を進めていくことの困難さ、例えば気管カニューレ内吸引も含んだ研修をしようとする1号研修になるが、鼻腔吸引や経鼻胃管の利用者がほとんどおられず必要な演習が組めない、という問題。個人的な印象としては、やはり施設でも「特定の者（3号）研修」の積み上げで進めていった方が、実態に応じた研修を進めていけるのではと感じたが…と。

・討論

「制度」がかわり「業務」としてできることになったが、一方で研修体制が整うまでの新規のケアへの対応や、「吸引・注入以外」の医療的ケアへの実施に対して、「制度外のことはできない（しない）」という事業所や医師・看護師の声があったり、研修や手続きの負担が大きすぎるために撤退する事業所が現れたり、という問題が指摘される。…と。

・まとめ

「法制化の限界とキャパ」を認識する必要がある。この法制化が「支援の輪を広げる」という視点に本当につながっているのかどうか？それでもその方向に向かっていくために「制度を上手く使っていく」ことが必要である。…と。

…<当日配布資料表紙> <http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20120527NPOsinpo.pdf>

※当日は京都府下だけでなく近畿各地、愛知、岐阜、神奈川、沖縄などから100名を超える参加者でした。

参加頂いた皆さん、スタッフの皆さん、有難うございました。

- ・当日の感想、ご質問などあれば事務局お寄せ頂ければ幸いです。
- ・シンポジウムの模様を伝える京都新聞6/12付け（紙版をPDF）

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20120612-kyoto.pdf>



※（シンポジウム終了後、NPO法人医療的ケアネット2012年度総会開催しました）

- ・2011年度の活動報告、決算、2012年度の活動計画、予算、理事、監事についても承認確認されました。
- ・2012年度事業計画 <http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20120527-npomc.pdf>